

モノ考

福島のそこ力

単に魅力的な笑顔をつくらうというシロモノではない。街や企業を活性化させたい、という希望が込められている。

「笑顔世界マウスピース」は1日5分、1カ月のトレーニングで理想的な笑顔を実現しようという商品。写真。「笑顔世界」(いわき市東田町、☎0246・62・7135)がつくった。上あごにはめるマウスピースに、上唇の口角を

笑顔世界マウスピース



はめる口には「笑」来たる



持ち上げ支える台を一体化させ、特許も取った。社長で歯科医でもある猪狩光郎さんによると、好感度の高い笑顔の定義

は「口角が上がり、上の歯は見えるが歯茎は見えない。下唇は上の前歯の切れ端に沿い、下の歯は見えていない」。

6人に試させたところ、装着1カ月で口角が平均2・5ミリ上がり、幅も2・7ミリ広がった。鼻呼吸の訓練にもなる。

「笑顔を社会の健康づくりに役立てたい」と猪狩さん。企業の営業力向上や顧客サービスの実、果ては街おこしなどに使って経済発展につながればと意気込む。

もちろん個人でも、結婚式や同窓会の前に訓練しておけば、これまでではない笑顔で写真におさまれるかも。

6300円の既製品と3万円の特注品がある。

特注では理想とする有名人の笑顔に近づけるよう作ることも可。ちなみに猪狩さんの目標は米国の俳優トム・クルーズ。車の運転中に日夜努力しているのだという。